

【参考配布】  
地域の皆さまへの説明会  
新潟県技術委員会における  
議論状況について

平成27年6月



東京電力

---

# 福島事故検証課題別ディスカッションの議論状況

- 平成25年度10月から議論を継続しています
- 可能な限り再調査・追加調査も行い、約550問の検証質問に回答しています

課題		開催実績	前のご説明	今のご説明
1	地震動による重要機器の影響	5回	—	○ 福島第一1号機現地調査実施
2	海水注入等の重大事項の意思決定	5回	—	○ 議論の進捗状況
3	東京電力の事故対応マネジメント	5回	—	○ 議論の進捗状況
4	メルトダウン等の情報発信の在り方	5回	—	○ 議論の進捗状況
5	高線量下の作業	4回	○	○ 議論の進捗状況
6	シビアアクシデント対策	4回	—	—

# 福島第一原子力発電所1号機現場調査

- 技術委員会に協力して、1号機の現場調査を行いました



非常用復水器周辺



ほう酸水注入系周辺（事故後初めて入域）

【日 時】平成27年2月21日 13時00分頃～14時00分頃（4階：約30分）

【現場調査者】技術委員会委員：中島座長，杉本委員，鈴木委員，立石委員，田中委員（5名）

当社：川村原子力設備管理部長 ほか5名

# 海水注入等の重要事項の意思決定や事故対応について

- 発電所長の責任と権限を明確にし、事故対応に専念できる体制に改善しました

## ■ 確認された事実

- 原子炉冷却のため、海水注入を発電所長が躊躇なく判断して実行
- 事故対応の責任者（発電所長）の判断を超え、外部意見を汲んだ本店が海水注入・変更を指示し、対応が混乱

- 発電所長の責任と権限を明確化し、事故対応に専念できる体制を構築

- 今後とも重要事項の意思決定は、発電所長が自らの責任と権限で実施



発電所緊急時対策本部 各担当班



発電所緊急時対策本部 本部長



本店緊急時対策本部

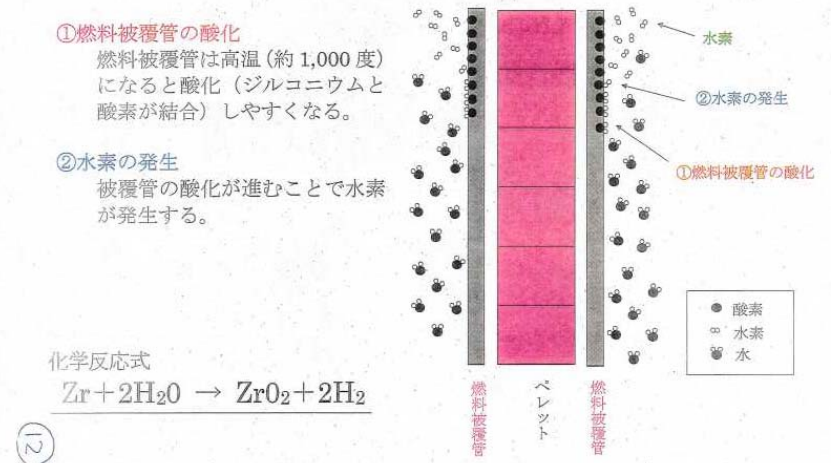
# メルトダウン等の情報発信について

■ 事故時広報の問題を反省し、迅速かつ率直にお知らせするようにあらためます

## ■ 確認された事実

- 正確な情報を、国の事前了解を得て公表することを重視
- メルトダウンは認識できたはずだが、憶測でのプレス発表を回避
- 新潟県知事への事故状況説明でも、メルトダウンに言及できず
- なお、「メルトダウンと言わない」との指示を国から受けた事実は確認されず

水-ジルコニウム反応による水素発生メカニズム



知事説明資料の一部(約20枚のうち1枚)  
※福島事故検証課題別ディスカッション課題4にて提出

■ 明確な根拠が十分に示せない状況であっても、 発電所の情報については 当社の責任において迅速・率直に言及 していく

# 高線量下での作業について

## ■ 放射線量の上昇に備えた被ばく低減策や、資機材輸送体制を強化しました

### ■ 確認された事実

- 事故後に線量限度が変更となり，その条件下で現場の社員は事故対応を進めた
- 資機材等の輸送を主として社員で行うことになり，滞ることがあった

### ■ 被ばく低減策

- ✓ 格納容器ベントに遠隔手動操作機構を追加
- ✓ 装備品を充実

### ■ 資機材輸送体制

- ✓ 輸送契約の締結
- ✓ 輸送関係者への放射線防護教育

### ■ 被ばく低減対策例



装備品の充実

運転員の待機所整備

緊急時の線量限度引き上げを含む法律改正案が提示され，パブコメ中